

平成 25 年度第 5 回中間市男女共同参画審議会 議事録

【日時】平成 25 年 12 月 6 日 10 時～11 時 30 分

【場所】中間市人権センター 2 階研修室

【出席者】〔委員〕有馬周子、井上朱美、河内祥子、正司園博行、末次哲、中尾寿子、西内憲子、野田美知子、花田匡英、細川忠広、三角由紀子
〔事務局〕古賀課長、蛙田係長、俵、楠本、福田
〔市民傍聴者〕0 名

1. 会長あいさつ

【会長】おはようございます。皆さまのおかげでようやくゴールが見えつつあります。あともうひと頑張りです。本日も忌憚ないご意見をよろしくお願いします。

2. 審議

●第 2 章

【河内会長】P. 7 「計画の名称と基本理念」を、前回の議論のとおり「計画の名称とテーマ」に訂正する。

【中尾委員】P. 9 4. 施策の体系表中の「基本理念」も「テーマ」に変更されていない。

【河内会長】今回は、業者とのやりとりがうまくいかなかったとの事で、契約を解除している。よって、事務局を中心として作り上げることになった。細かい点も指摘していただきたい。

【中尾委員】P. 15 「3. 男女共同参画の視点に立った…」の部分が、前回の訂正が反映されていない。

【西内委員】P. 11 棒グラフ中の「N=813、n=425」の意味について明記してほしい。

【河内会長】横棒グラフ中の比較線を、不要部分（全体と内訳の女性）は削除してほしい。

【事務局】グラフはエクセルで作成しているので、比較線は一括で表示するか非表示にするかしかできない。

【河内会長】では、全て表示することにする。

【中尾委員】比較線が入っていないグラフもあるので、全て統一してほしい。

●第 3 章 3 節 働く権利の保障と雇用の場における男女平等の推進

【河内会長】P. 26、10 行目の「セクハラ」についての、市民意識調査の「セクハラだと認識していない人が多く見られる」という文言については、グラフは掲載していない。グラフがないのでわかりにくい言い方になっているのでグラフを追加したいが、グラフを追加できないのであれば文言をわかりやすいものに訂正してほしい。

【西内委員】グラフのほうが、目に訴えるのでわかりやすい。

- 【有馬委員】 グラフが多いので数値データだけでいいのでは。
- 【井上委員】 認識していない人が多数いたと言うグラフがあるのか。
- 【河内会長】 グラフは市民意識調査のデータとしてある。
- 【井上委員】 セクハラだと認識していないこと自体が問題なので、このデータは必要である。
- 【中尾委員】 図表 3-5 と同じ内容のグラフではないか。
- 【河内会長】 意識の違いに関しての間なので、図表 3-5 とは異なる。
- 【中尾委員】 問がいくつもあるので、一部の特に重要な問を抜粋してグラフを掲載するのはどうか。
- 【細川委員】 どのグラフも重要なデータなので、ページ数の関係で削るくらいなら、資料編としてデータを全て最後にまとめて表示すればいいのではないか。
- 【有馬委員】 グラフを最後につけたとしても、最後のページと文書を見比べて見るのは難しい。
- 【河内会長】 表示できる範囲で掲載してほしい。特に重要な問から抜粋してほしい。
- 【事務局】 掲載できる範囲で調整する。
- 【中尾委員】 P. 30 のグラフで、「耕地面積率」のデータが、「全国、福岡県、中間市」と表示されている。
- 【河内会長】 起業した女性に対する施策として、前回の議論の内容を踏まえて、研修会などの情報を提供するという方向でお願いしたい。

●第4節 男女の自立促進と生活・子育て支援

- 【井上委員】 P. 35 は「生み」と「産み」が混在しているが、「産み」に統一してほしい。
- 【河内会長】 7 行目の「問題のある児童」という表記は、「このような児童」などとしたほうがいいのではないか。
- 【井上委員】 先の文章に説明があるので「問題」と言う言葉は削除していいのでは。
- 【河内会長】 「支援を要する児童」とするのはどうか。
- 【三角委員】 「問題のある児童への」を削除していいと思う。
- 【河内会長】 では、そのようにする。
- 【中尾委員】 前回、P. 40 「外国人の相談体制」の部分は「支援体制」へと変更になっていたが、反映されていない。
- 【西内委員】 P. 41 図表 4-5 での出典元の「WAM NET」とは何か？
- 【事務局】 「WAN NET」とはサイト名で福祉関係のホームページである。
- 【河内会長】 調査名を調べて表記してほしい。また、P. 41 の訂正で「中でも」を「しかし」に変更しているが、ここは「その中でも」でいいのではないか。また、一文で改行するのはあまり適切ではない。

●第5節 男女の健康づくりと暴力の根絶

【三角委員】P. 46「2. 性と生殖に関する女性の健康についての理解の促進」の具体的施策の中で、「(2)HIVをはじめとした性感染症に対する正しい知識の普及を図る。」担当課には、学校教育課も必要ではないか？HIV感染者は特に増加しているので、学校教育課と協力して、性教育と併せて早い段階から正しく教えるべきではないか。

【事務局】 学校教育課とカリキュラム等の調整などが必要で、今すぐに返答は出来ない。段階を踏んでからの返答になる。

【中尾委員】 次回の教育委員会で報告してみる。

【河内会長】 検討してほしい。このような施策に対する意見もいただきたい。今から取り組んでいくことが大切なので、すぐには実行できなくても今後の課題として挙げていただきたい。

【中尾委員】 HIVの授業をしているのであれば、担当課として学校教育課を加えられるのではないか。

【有馬委員】 P. 50「(2)青少年に対する性の尊厳についての啓発活動を推進する。」の具体的施策については、学校教育課が担当している。保健体育等で性の尊厳等の授業をしているのであれば、HIVも含まれているのではないか。

【事務局】 今現在、授業で行われているのか確認する。授業を行っていないのであれば、推進する。

【河内会長】 可能であれば、学校教育課を追加してほしい。難しいのであれば、その方向で進めてほしい。どこかでスタートすることが大切である。

●その他

【花田委員】 前回と同じように、空いたスペースにイラストを入れてほしい。なかっぱなどでもよい。

【河内会長】 イラストを入れると温かく柔らかい雰囲気になる。著作権に留意して、イラストを挿入してほしい。

●資料編

【河内会長】 前回のプランと同じように付録として資料編の作成を進めてもらっている。資料編の「人口・世帯数」以降については、グラフのみで解説文はなくてもいいのでは。文章よりデータに注力していただきたい。また、プランの内容に沿ってグラフの順番を入れ替えて、本文中と同じグラフは削除して必要最低限度のグラフにしてほしい。

●今後のスケジュールについて

===資料をもとに事務局が説明===

【河内会長】 パブリックコメントでは、プランと行動計画のみか？

【事務局】 資料編も含める。

【中尾委員】 一般市民の方々に、パブリックコメントについてどうやって周知するのか。

【事務局】 ホームページ、広報等で知らせる。市の出先機関に冊子を設置する。また、ホームページからも直接閲覧できるようにする。意見はホームページ、郵送、FAXで募集する。それを受けて公開という形で回答する。個人への回答はしない。

次回はパブリックコメント後の3月下旬に開催する。